

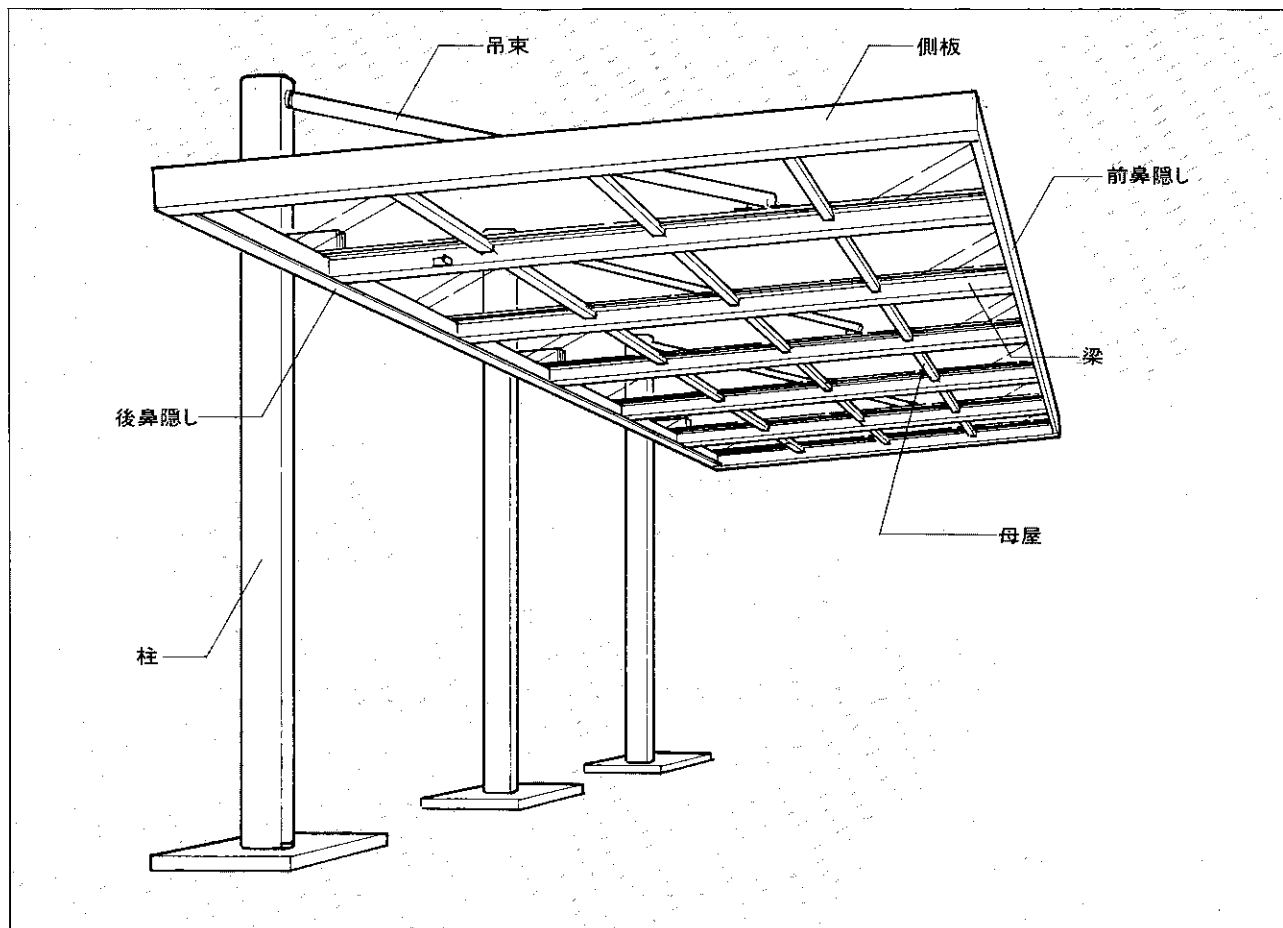


この説明書は施工完了後、施主様にお渡し願します。

高級アルミカーポート

ハコスH型

取付け説明書

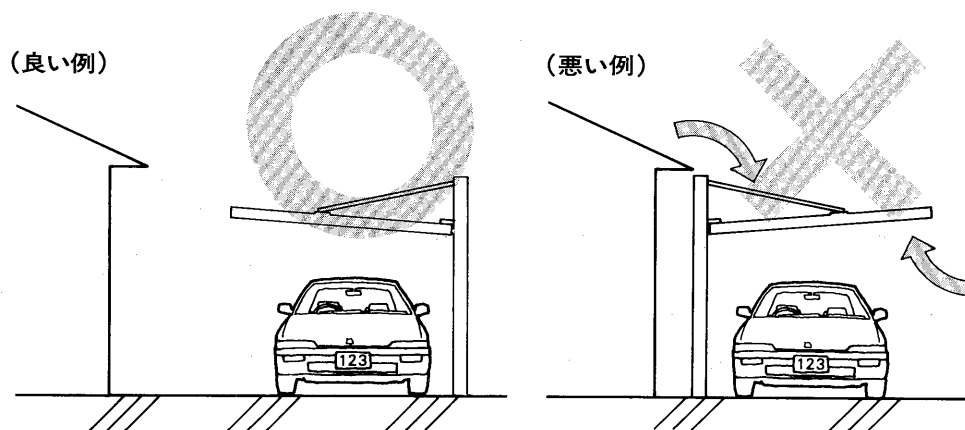


INDEX

□ ご注意	1
□ 姿図・基本寸法表	2
□ 基本図	3・4
□ 取付け手順	5~11
□ 工務店さまへのお願い	12
□ 施工主さまへのお願い	13

■ご注意

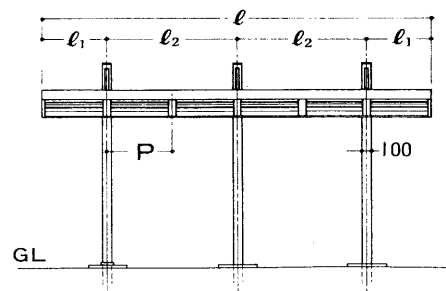
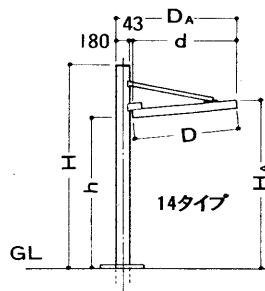
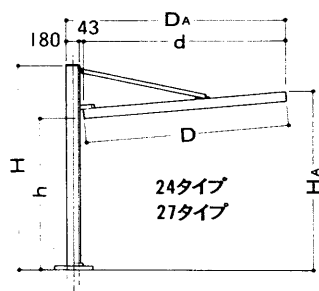
- 設置上のご注意……………
- 建物側の屋根からの落雪による破損防止のため、軒先との間隔を十分あけてください。
 - 風であおられるのを防止するため、前鼻隠しを建物に向けて設置してください。
 - 強風の場合及び積雪時には、補助柱(別売り品)を取り付けてください。



- 施工上のご注意……………
- 組立てねじ・ボルトは、締め忘れぬよう、また使用中緩まぬよう、確実に締め付けてください。
 - タッピンねじの下穴は、太いドリルを使用するとねじの保持力が下がりますのでご注意ください。
 - アルミ型材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触する時は、絶縁処理をしてください。
 - 取り付け時に屋根には乗らないでください。
 - アクリルパネルは当社指定品をご使用ください。
 - 製品の強度を損う改造・変更を行わないでください。

■ 姿図・基本寸法表

■ 標準タイプ



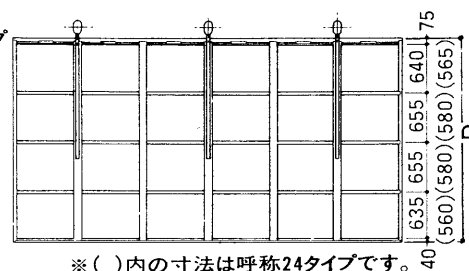
単位 (mm)

呼称	d	D	DA
14	1395	1400	1618
24	2391	2400	2614
27	2690	2700	2913

呼称	ℓ	ℓ ₁	ℓ ₂	P
51	5114	857	1700	850

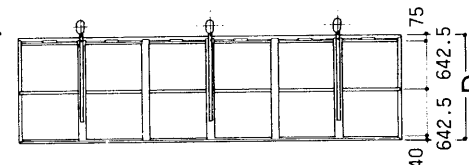
呼称	h	H	HA
14	2000	2683	2222
24			2309
27			2335

24・27タイプ

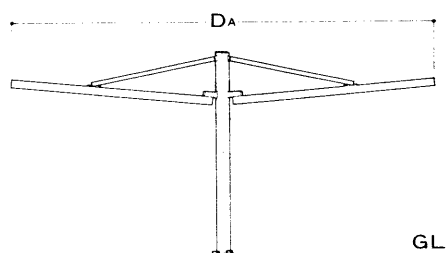


※ () 内の寸法は呼称24タイプです。

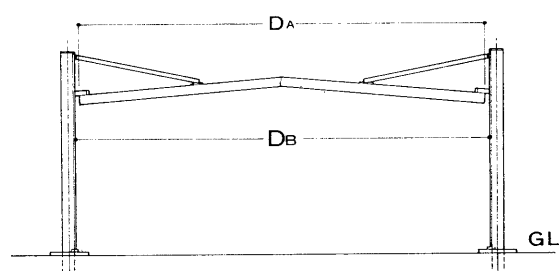
14タイプ



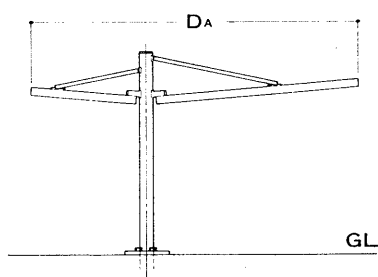
■ Y字合掌タイプ



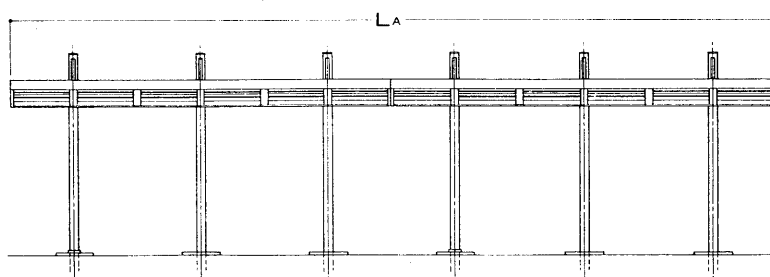
■ M字合掌タイプ



■ Y字合掌タイプ (サイクルポートタイプ)



■ 連棟タイプ

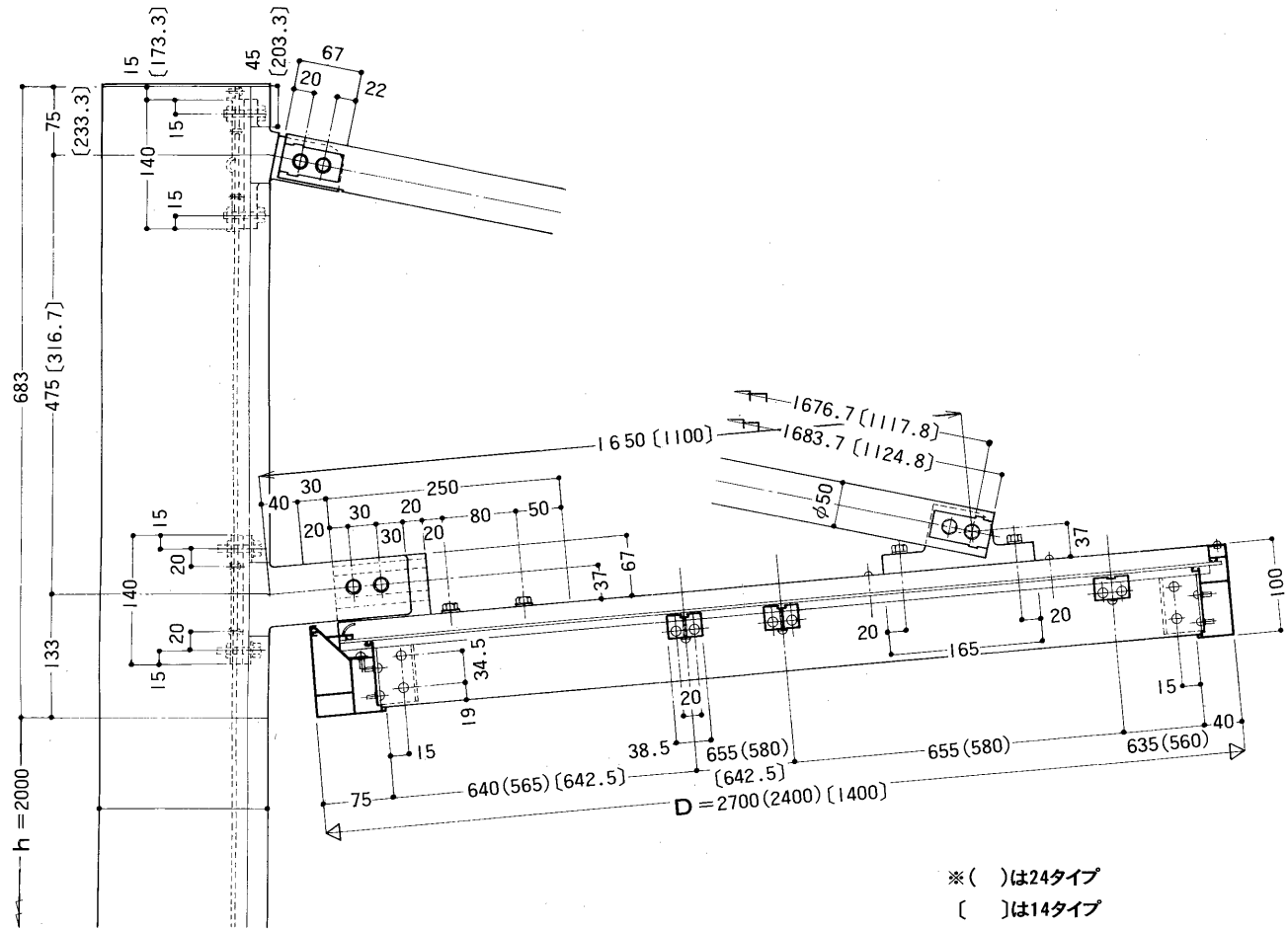


タイプ(呼称)		DA	DB
Y字合掌	24-24	5048	
	24-27	5347	
	27-27	5646	
Y字合掌 (サイクルポート)	14-24	4052	
	14-27	4351	
M字合掌	24-24	4809	4895
	24-27	5108	5194
	27-27	5407	5493

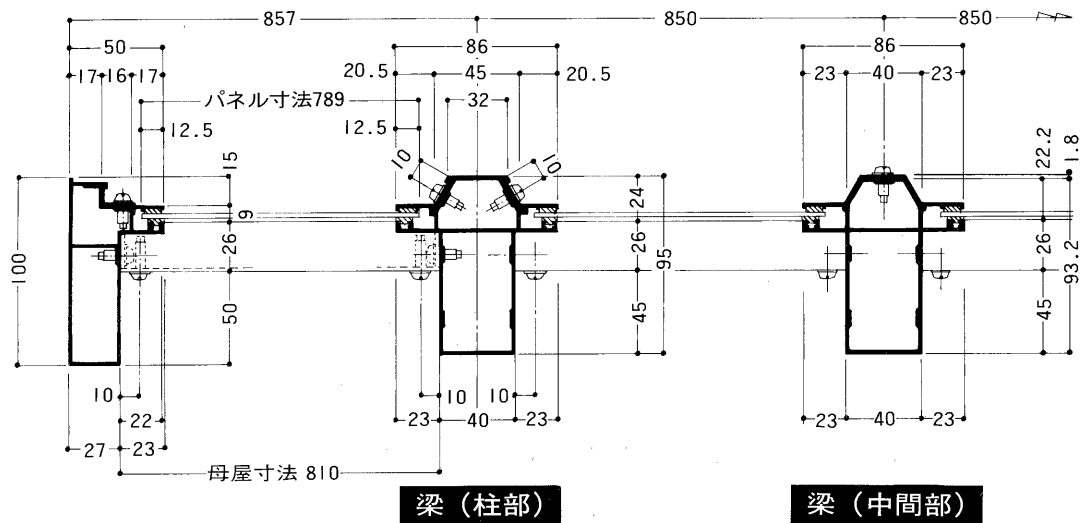
$L_A = 5114n$
n: 連棟数

■ 基本図 (標準タイプ)

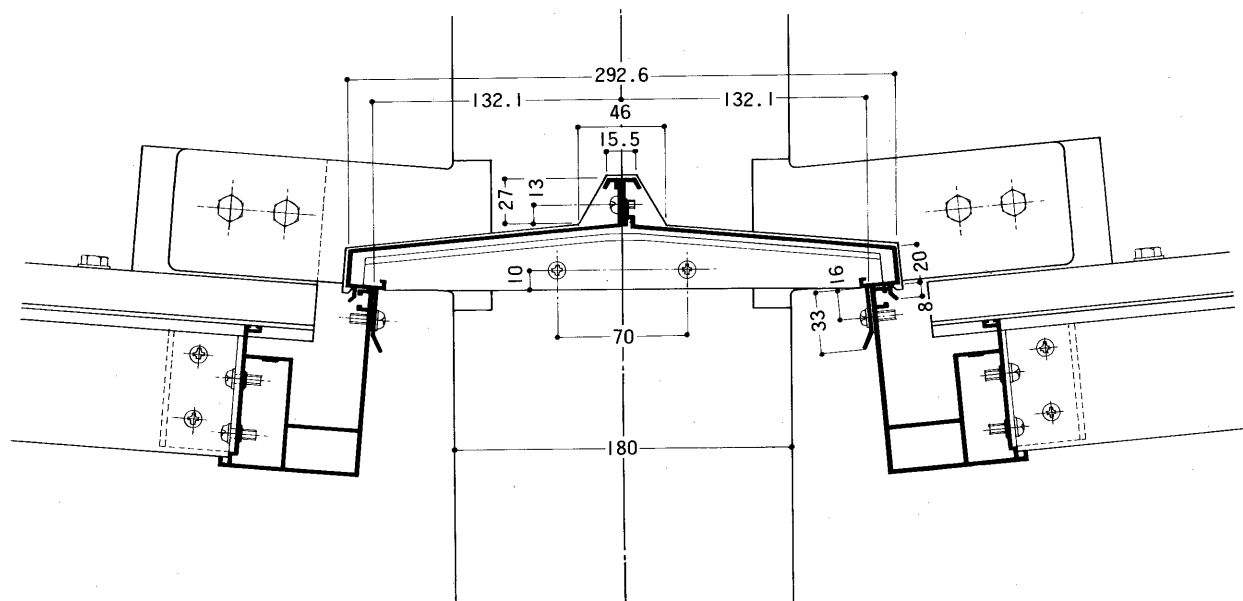
■ 縦断面図 (柱部詳細)



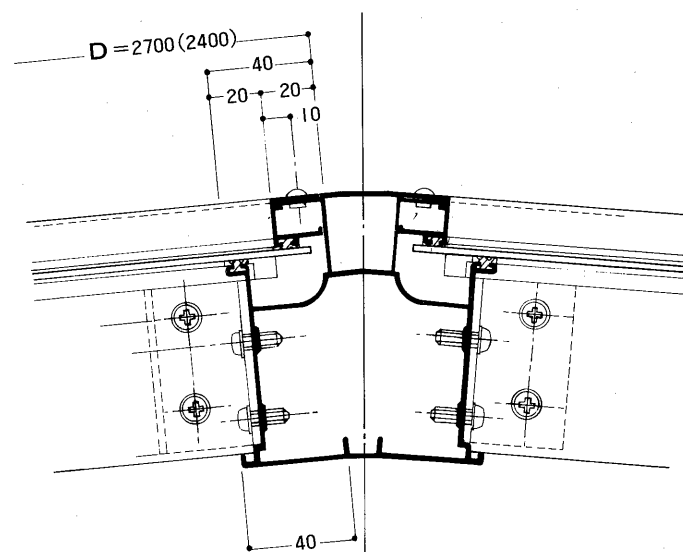
■ 縦断面図 (屋根部詳細)



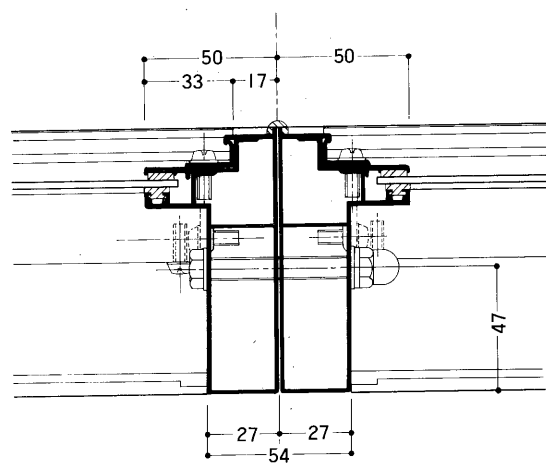
■ Y字合掌タイプ



■ M字合掌タイプ

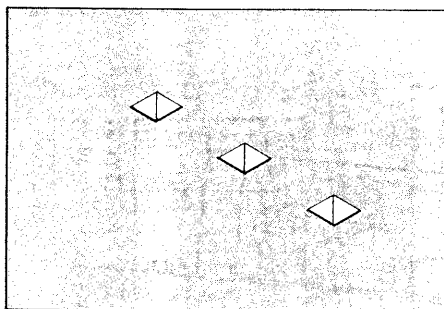


■ 連棟タイプ



■取付け手順（標準タイプ）

1. 柱・基礎

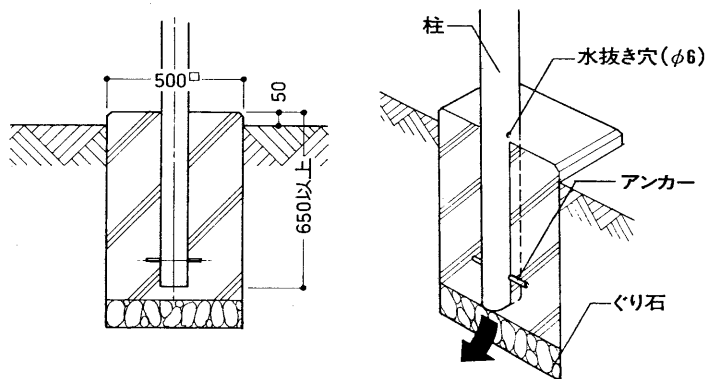


- 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。

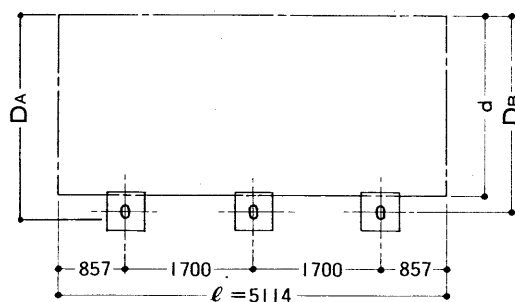
基礎構造にご注意ください。

1. 地盤の軟弱なところでは、柱の埋込みの深さ、基礎の大きさを考慮してください。
2. 地下埋設物（給排水管など）に影響を及ぼさないようご注意ください。
3. コンクリート（またはモルタル）には急結剤は絶対に使用しないでください。使用しますとアルミが腐食するおそれがあります。
4. 海砂はアルミ腐食のおそれがありますので、十分水洗いしたものをご使用ください。
5. 寒冷地区では凍上によって柱が浮上するおそれがありますので、埋込み深さを十分に考慮してください。
6. 柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱内の水抜きができるようにしてください。
また、柱と基礎の付根のところにも水抜き（6φ位）をあけておいてください。
7. 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないようご指示ください。

● 柱基礎



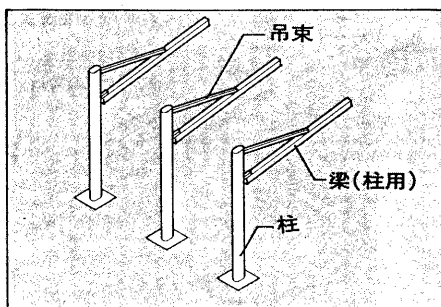
● 墨出し位置



	d	DA	DB
14	1395	1618	1528
24	2391	2614	2524
27	2690	2913	2823

■取付け手順 (標準タイプ)

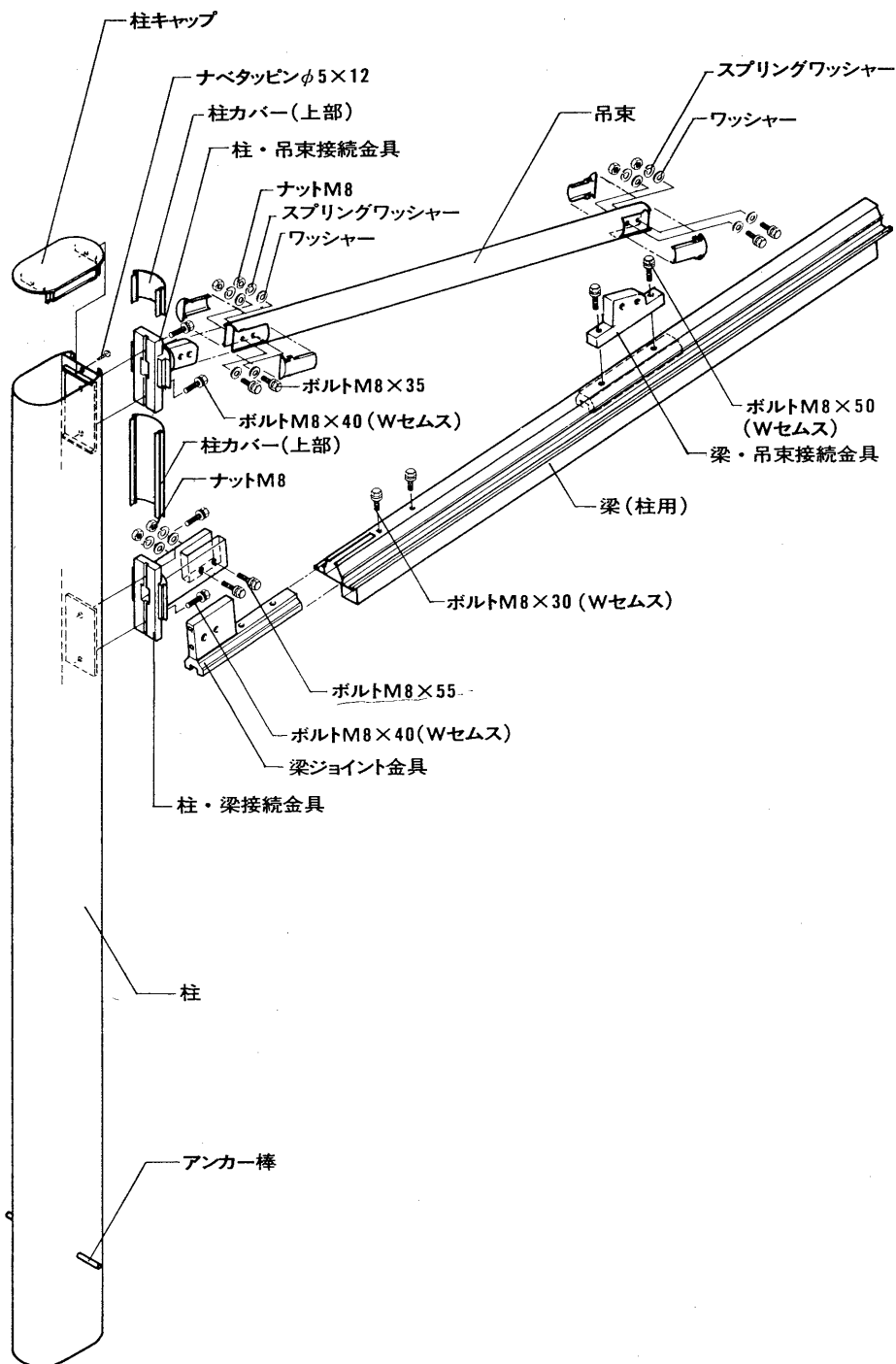
2. 柱・梁(柱用)・吊束・柱カバー(上部)の取付け



- ① 柱に柱・吊束接続金具と柱・梁接続金具をボルト(M8×40)で固定します。
- ② 梁に梁ジョイント金具をボルト(M8×30)で固定します。
同じく梁・吊束接続金具をボルト(M8×50)で固定します。
- ③ 梁ジョイント金具を柱・梁接続金具に差し込み、ボルト(M8×55)・ナットで柱と梁を固定します。
- ④ 吊束を柱・吊束接続金具と梁・吊束接続金具にボルト(M8×35)・ナットで固定します。
- ⑤ 吊束に吊束キャップをはめ込みます。
- ⑥ 柱キャップをはめ込み、ナベタッピンねじ(φ5×12)で固定します。
- ⑦ 柱カバー(上部)(下部)をはめ込みます。
- ⑧ 柱下部にアンカー棒を差し込みます。

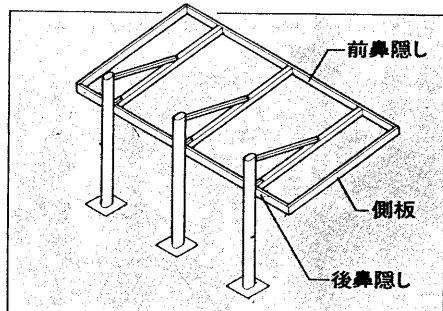
注)

- 柱・梁接続金具のボルト(M8×55)を挿入する穴は、片側にボルト頭が入る6角形のへこみが付いていますのでボルトの挿入方向に注意してください。



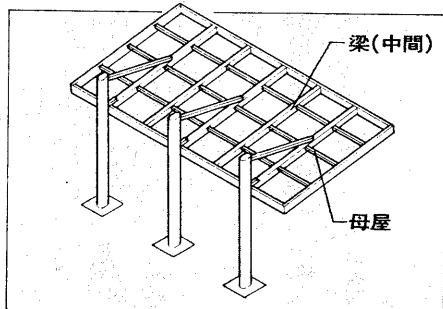
■取付け手順（標準タイプ）

3. 前鼻隠し、後鼻隠し、側板の取付け

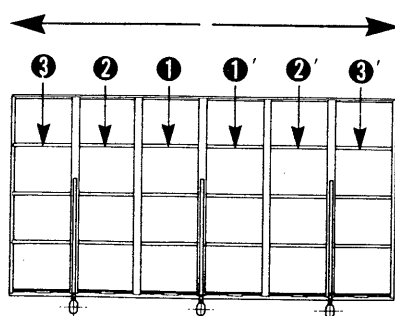
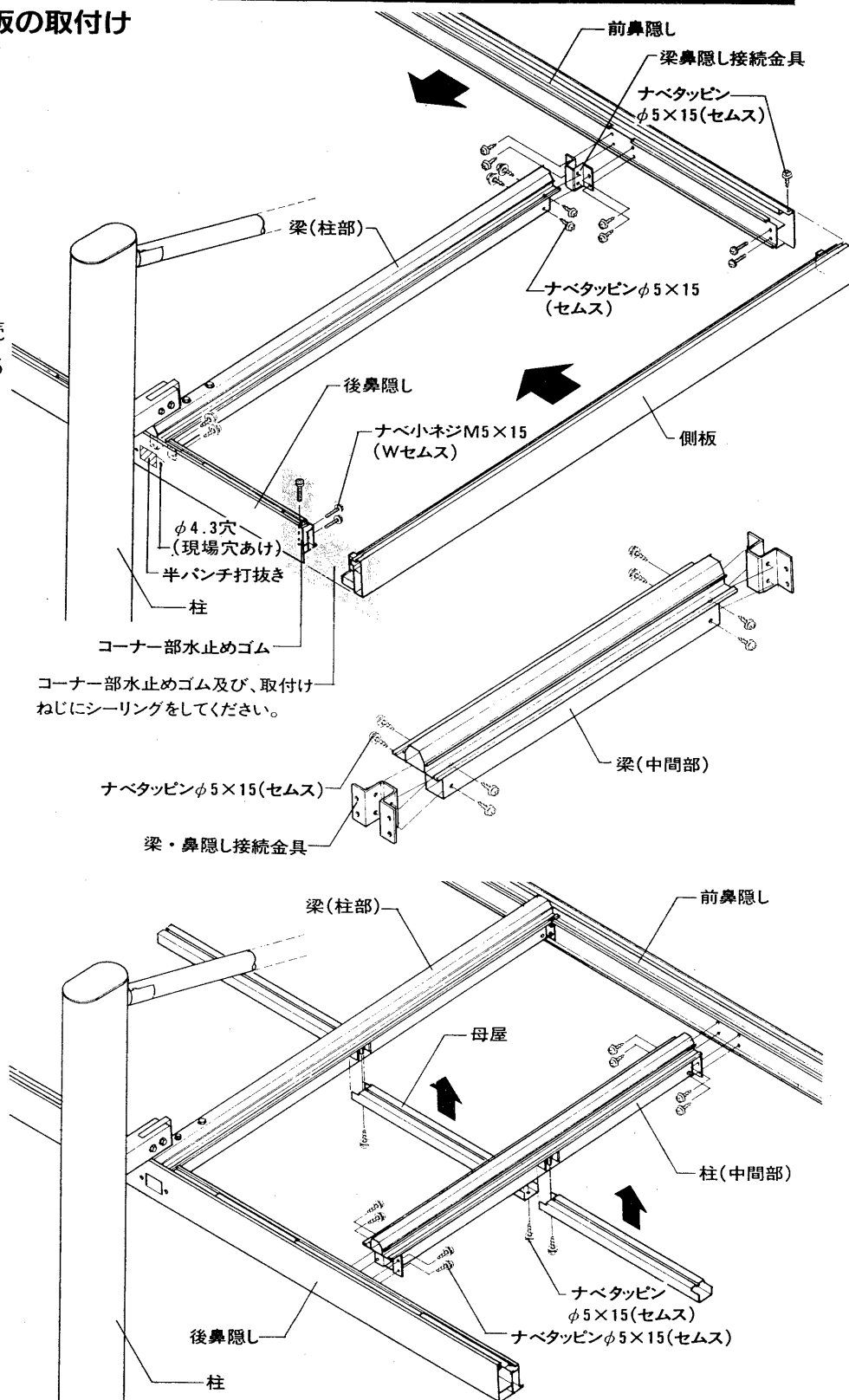


- ① 梁(柱用)の両端に梁・鼻隠し接続金具をナベタッピンネジ($\phi 5 \times 15$)で固定します。
- ② 梁(柱用)と後鼻隠し及び、前鼻隠しをナベタッピンねじ($\phi 5 \times 15$)で固定します。
- ※ 後鼻隠しの左右には、雨どいアタッチメント取付け用のポンチングと雨落としのため半パンチ穴が加工してあります。後鼻隠しを固定する前に雨水を落とす方向を決め、ポンチングを $\phi 4.3$ にて穴あけし半パンチ穴を打ち抜きます。
- ③ 側板をセットし、ナベ小ねじ(M 5×15)で固定します。(後鼻隠し側3カ所、前鼻隠し側2カ所)
- ④ 前鼻隠しと側板をナベタッピンねじ($\phi 5 \times 15$)で固定します。
- ⑤ コーナー金具をM5ナットにて固定します。

4. 梁(中間)、母屋の取付け



- ① 梁(中間)に梁・鼻隠し接続金具をナベタッピンねじ($\phi 5 \times 15$)で固定します。
- ② 梁(中間)を鼻隠し上部より落とし込み、ナベタッピンねじ($\phi 5 \times 15$)で固定します。
- ③ 母屋を下方より母屋取付け金具に差し込み、ナベタッピンねじ($\phi 5 \times 15$)で固定します。

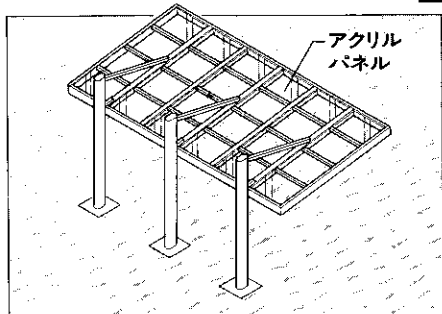


(注) 母屋の取付けは、梁を傷付けないように梁を広げながら取付けてください。

※ 母屋の取付けは、中央より端部へ向かって取付けてください。

5. 屋根材の取付け

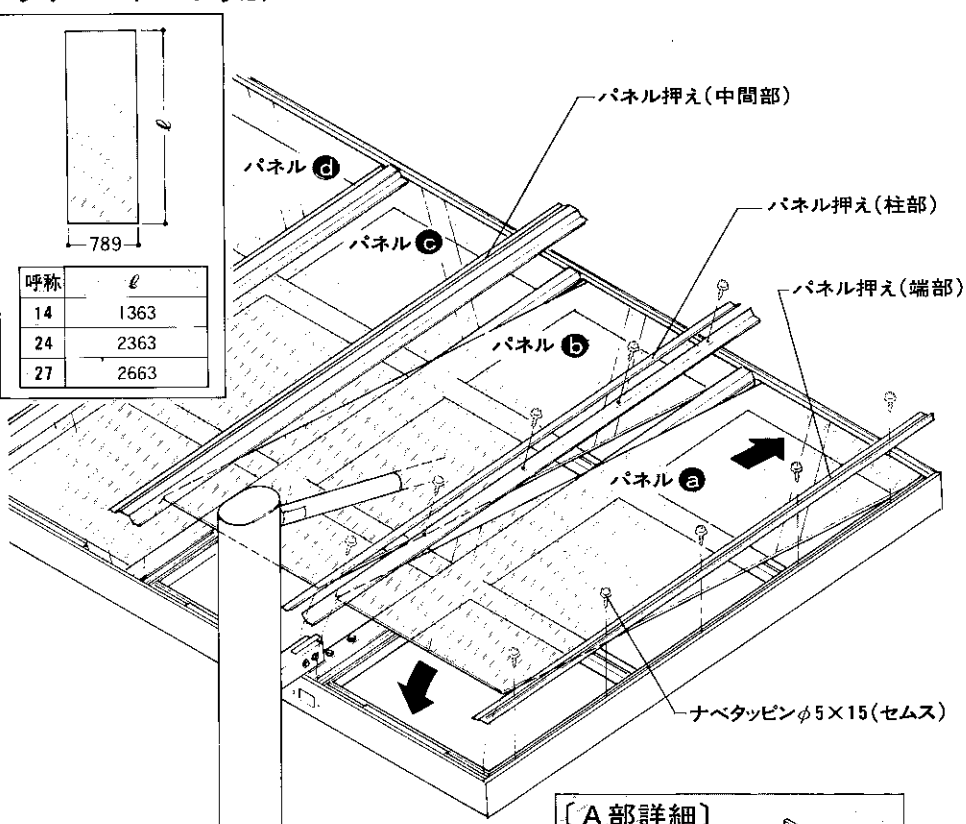
■ アクリルパネルの寸法



※パネルは端から順にのせて取り付けてください。

1. パネル①をのせます。
2. パネル押え(端部)とパネル押え(柱部)をナベタッピンねじ(φ5×15)で固定します。
3. パネル②をのせ、パネル押え(柱部)をナベタッピンねじ(φ5×15)で固定します。
4. パネル③をのせ、パネル押え(中間)をナベタッピンねじ(φ5×15)で固定します。
5. 以下同じ手順で取り付けます。

呼称	ℓ
14	1363
24	2363
27	2663



6. 柱カバー(下部)の取付け

※柱カバーは2種類あります。

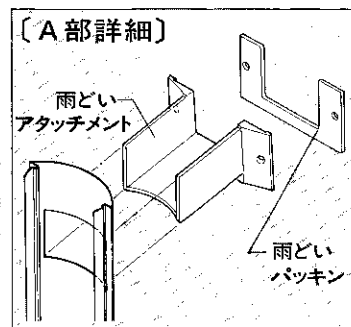
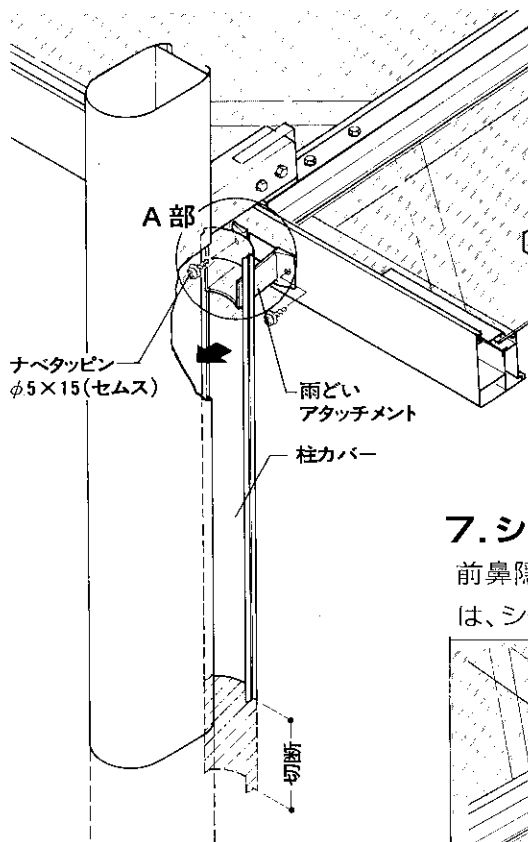
雨どいアタッチメントを取り付ける柱には、切欠きのある柱カバーを使用してください。

※Y字合掌タイプ等の1本梱包の柱には、切欠きの付いた柱カバーのみ入っています。雨どいアタッチメントの付かない柱に使用の場合は、切欠きの方を切断してください。

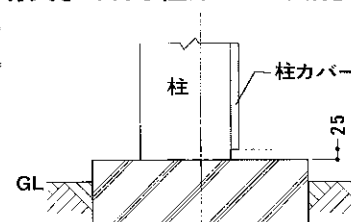
- ① 柱カバーを(図-A)に従い、下部をカットします。

※切欠きのある柱カバーは取り外す場合がありますので埋め込まないでください。

- ② 雨どいアタッチメントに雨どいパッキンを張り付けます。
- ③ 柱カバーの切欠き部分に雨どいアタッチメントを通してナベタッピンねじ(φ5×15)で後鼻隠しに固定します。次に、柱カバーを柱にはめ込みます。

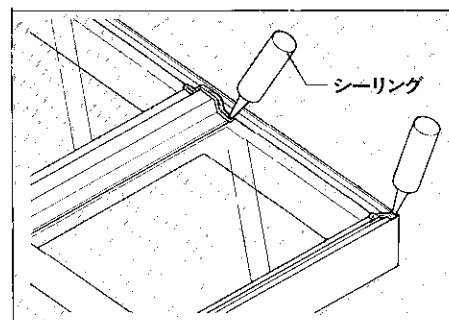


〔切欠きのある柱カバーの納まり〕



7. シーリング

前鼻隠しと梁及び側板との接合部は、シーリングで処理してください。

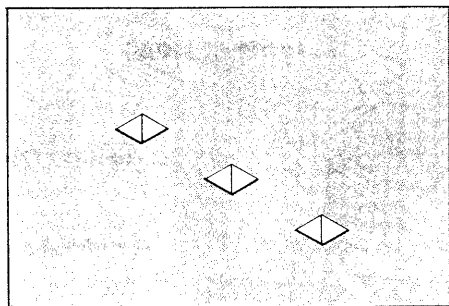


■ 取付け手順 (Y字合掌タイプ)

■ Y字合掌タイプ (サイクルポートタイプも含む)

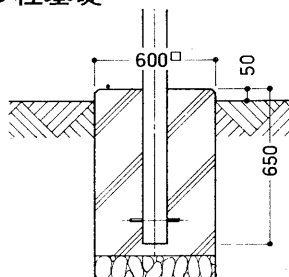
1. 柱、基礎

● 柱基礎

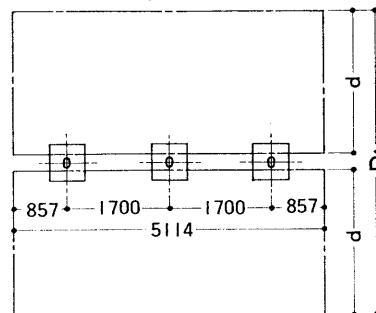


● 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。

※ 基礎構造については5ページ (標準タイプ) をご覧ください。



● 墨出し位置



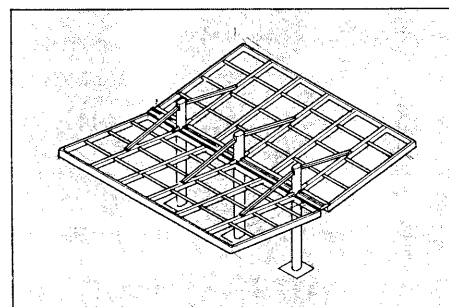
	d	DA
24・24	2391	5048
24・27	2391/2690	5347
27・27	2690	5646
14・24	1395/2391	4052
14・27	1395/2690	4351

2. 本体の組立て

Y字合掌用柱に標準タイプと同じ要領で屋根を取り付けます。

その他本体の組立ては、標準タイプと同じです。

3. 合掌屋根の取付け



① 合掌部屋根 A と B をナベタッピンねじ (φ5×8) で固定します。

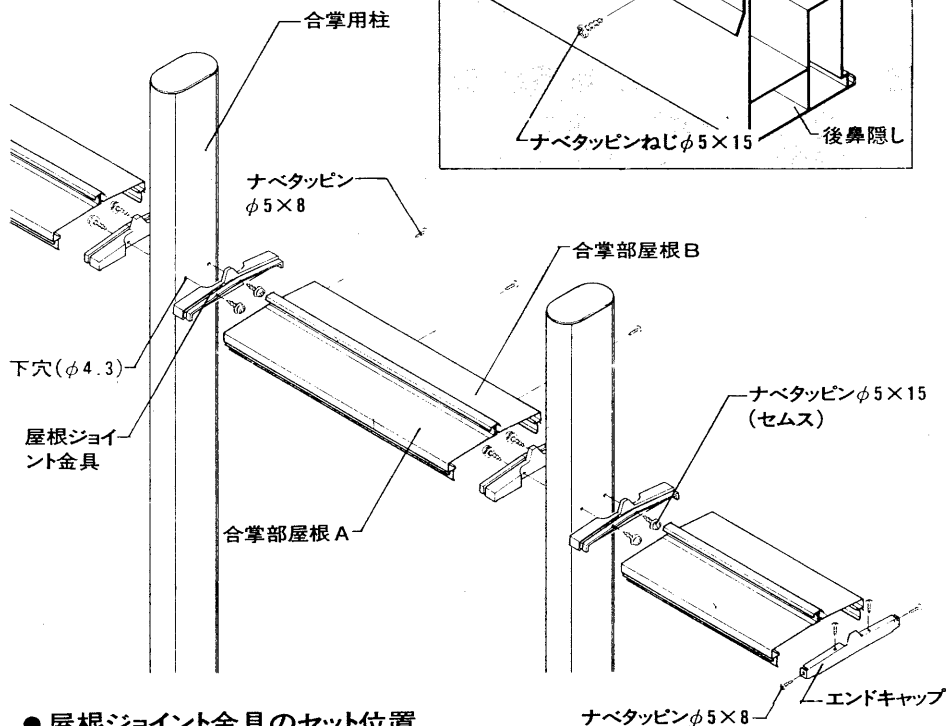
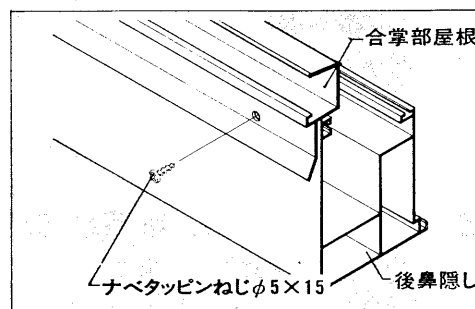
※ 合掌屋根は、中間用、端部用がありますのでご注意ください。

② 屋根ジョイント金具を後鼻隠しの上にのせます。次に、合掌用柱にφ4.3の下穴をあけ、ナベタッピンねじ (φ5×15) で固定します。

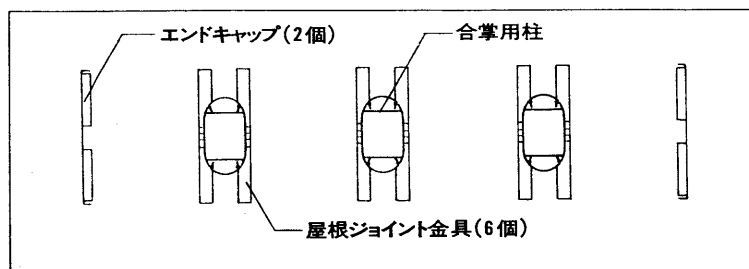
③ 合掌部屋根を上からかぶせます。次に、後鼻隠しにφ4.3の下穴をあけ、ナベタッピンねじ (φ5×15) で固定します。

④ エンドキャップをセットし、ナベタッピンねじ (φ5×8) で固定します。

● 合掌部屋根と後鼻隠しの固定

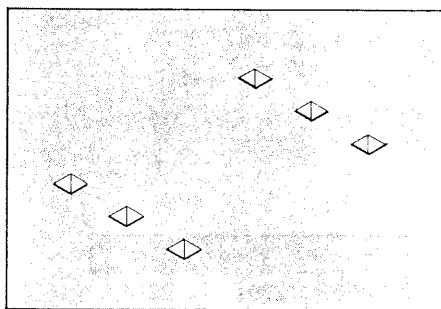


● 屋根ジョイント金具のセット位置

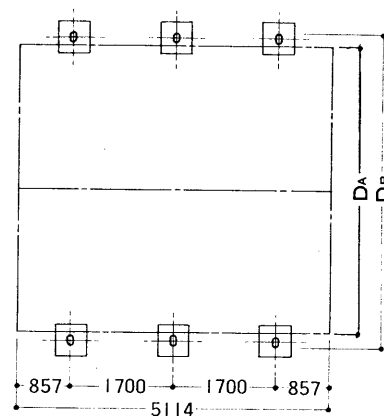
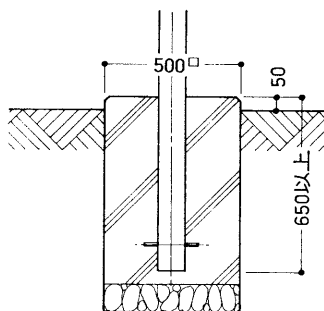


■ 取付け手順 (M字合掌タイプ)

■ M字合掌タイプ



- 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。



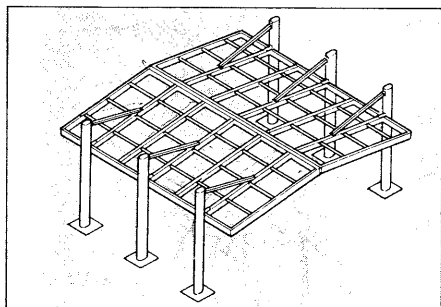
	DA	DB
24・24	4089	4895
24・27	5108	5194
27・27	5407	5493

2. 本体の組立て

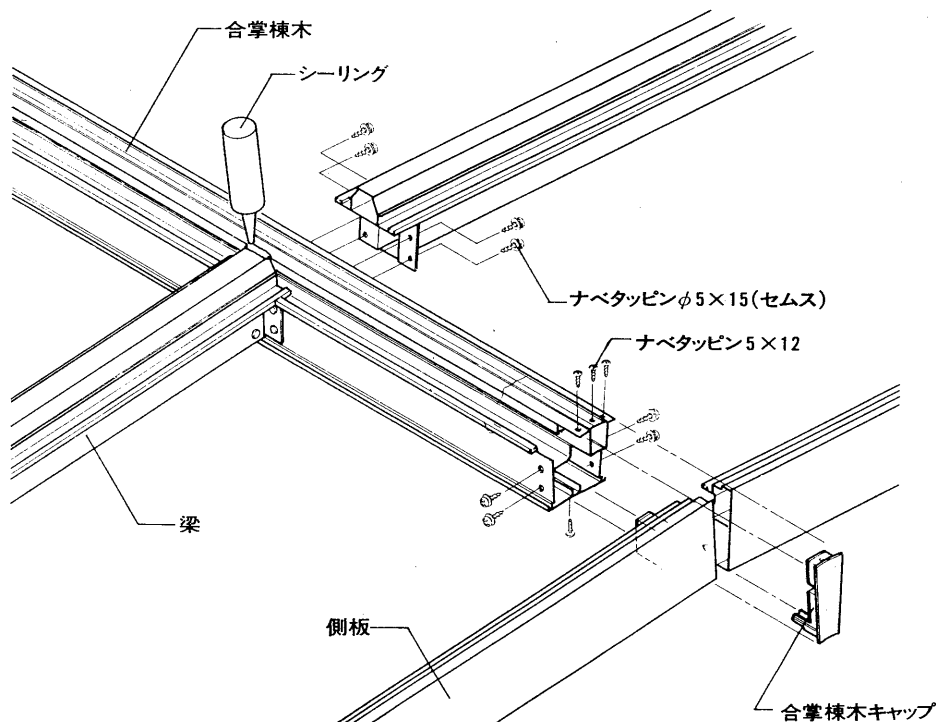
その他は、標準タイプと同じ要領で組み立てます。

前鼻隠しの代りに合掌棟木を使用します。

3. 合掌棟木の取付け



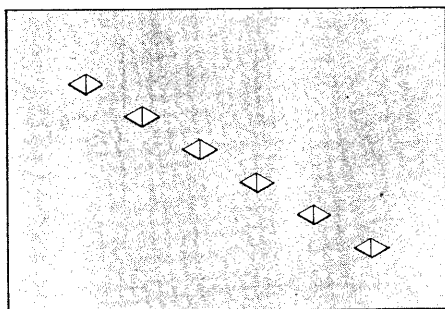
- ① 合掌棟木に柱部梁をナベタッピンねじ(φ5×15)で固定します。
- ② 中間梁をナベタッピンねじ(φ5×15)で固定します。
- ③ 側板をナベタッピンねじ(φ5×15)及び、ナベ小ねじ(φ5×15)及び、ナベ小ねじ(M5×15)で固定します。
- ④ 合掌棟木キャップをナベタッピンねじ(φ5×12)で取り付けます。
- ⑤ 梁・側板と合掌棟木との固定部に標準タイプと同様にシーリングをします。



■ 取付け手順(連棟タイプ)

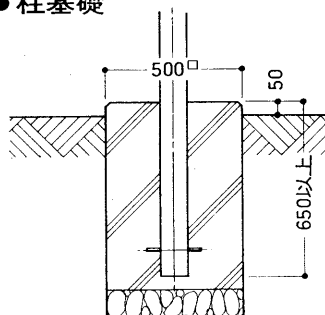
■ 連棟タイプ

1. 柱、基礎



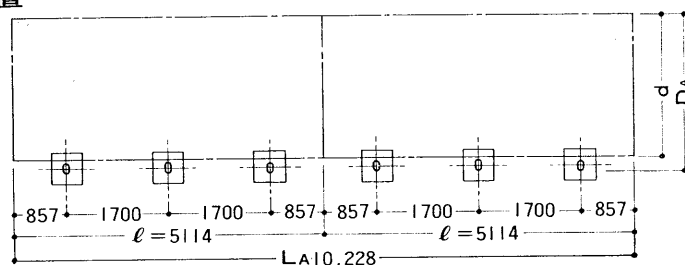
- 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘り込みます。

● 柱基礎



	d	DA
24	2391	2614
27	2690	2913

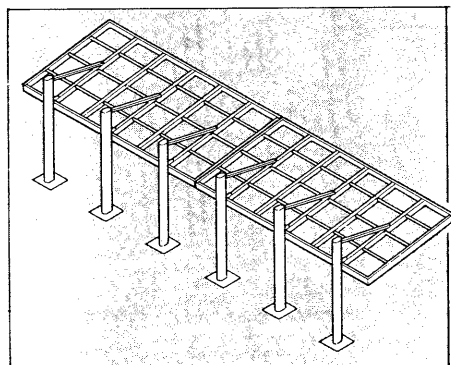
● 墨出し位置



2. 本体の組立て

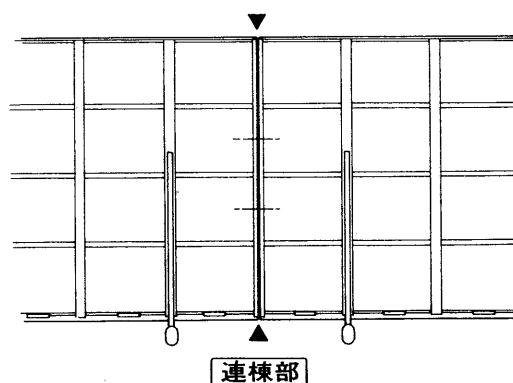
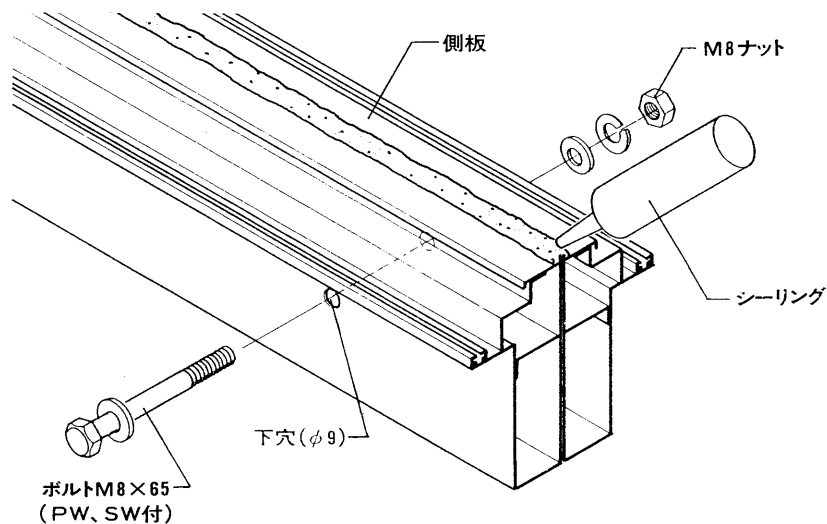
標準タイプと同じ要領で組み立てます。

3. 連棟方法



側板同士を合わせて $\phi 9$ の下穴(2カ所)をあけ、ボルト(M8×65)・袋ナットで固定します。

次に、側板の連結部上面をシーリングします。



通常のご扱いによって生じた不具合については、原則として当社の責任において交換・補修しますが、下記の場合は責任を負いかねますので十分ご注意ください。

- 当社が表示した以上の性能を必要とする用途や個所(地域)に製品を設置した場合。
- 当社が表示した取扱い上の注意事項及び、維持管理の注意事項を守っていない場合。
- 工事上の欠陥があった場合。
- 製品に他の構成材を加えたり、又は規格外に加工して製品の形態を変えている場合。
- 風・雪による落下や飛来による損傷。
- 製品の表面に、特に塩害や大気中の砂じんやばい煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどの反応物質が付着しておこる腐食。
- 不可抗力(天災、地変、異常気象(風、雪、水害など)地盤沈下、火災、騒乱など)による場合。
- 製品の構成材であっても、当社の供給責任範囲外のもの(アクリルパネルなど)

■ タイプの選び方 ■ 本製品は一般地域用600形仕様です。
一般地域用600形.....載荷重61.2kgf/m²

■ JIS規格外となる機種 ● ハコスHL型はJIS認定品ですが、下記の機種はJIS A 6604の規格と寸法が異なるため、JIS規格外となります。

■ Y字合掌タイプ

■ ハイルーフ仕様

- 上記のJIS規格外に該当する場合は、組み立て前に側板に張ってある㊦マークをはずしてください。
ただし、強度・耐久性など品質については、JIS製品と変わりありません。

■施工主さまへのお願い

トステム製品をご採用いただき誠にありがとうございます。

製品をいつまでも美しく、そして快適にご使用いただくために、ぜひお読みください。そして日々のお手入れにお役立てくださるようお願い致します。

- ネジ・ボルト類の増締め…… ● 6ヵ月程度のご使用後、ねじ・ボルト類は増し締めをしてください。
- 雪おろしについて…………… ● 積雪時には、危険ですので早めに雪をおろしてください。
雪おろしの目安…………… 積雪 20 cm
● 雪おろしなどの時、屋根には乗らないでください。
- 清掃について…………… ● 腐食の防止には、定期清掃が一番です。
簡単な水洗いだけでサビは防げます。定期的に年1～2回程度水洗い、空ぶきをするだけでぐんと長持ちします。汚れの特にひどい、工業地帯や海岸のすぐそばなどでは清掃回数を増してください。
● アルミニウム表面の保護膜に傷をつけますと、腐食を早めます。
清掃には布やスポンジなどの柔らかいものを使用し、やむを得ない場合のみスコッチブライトをご使用ください。金属性ブラシや金ペラは絶対に使用しないでください。
● 小石・砂などがアルミの表面についたまま布でこすると、表面を傷つけます。あらかじめ取り除いてください。
● 洗剤は中性のものだけを使用してください。酸性やアルカリ性のはアルミ表面の保護膜を侵し、サビの原因となります。

■建物の立地条件と清掃のひん度例

立地条件	清掃回数
臨海工業地帯	6～12回/年
海岸・工業地帯	4回/年
商業地帯	3～4回/年
田園地帯	3回/年

■汚れの程度と清掃方法

- 軽い場合……………水でぬらしたぞうきんでふきます。
- ひどい場合……………中性洗剤をうすめた液で汚れを落した後、洗剤が残らぬよう水洗いし、空ぶきをします。
- 著しく腐食し……………中性洗剤をつけた、スコッチブライトまたは目の細かい紙ヤスリで、部分的に軽くこすり、汚れやサビを除いた後水洗いし、表面に適した塗料(家具用ワックス等)で補修してください。
注1) スコッチブライト(住友スリーエム)の粒度はウルトラファイン。
注2) こする際は一定方向(アルミ押出しの筋目方向)にこします。
注3) 洗剤(薬品類)は、説明書をよく読んでから使用してください。
- サビが出た場合

- アクリルパネルの交換について ● アクリルパネルの耐用年数は使用状態により異なります。
アクリルパネルに亀裂が生じる等、老化してきた場合は、早めに交換をお願い致します。以上のお取り換え時に必要な部品、または製品についてのお問い合わせは、最寄りのトステム取扱店、またはトステム営業店にお願ひ致します。
- ご注意…………… ● 殺虫剤や農薬をアクリルパネルの近くで散布するとアクリルパネルに亀裂が生じるおそれがありますので、ご注意ください。